

がんとともに生きる薬剤師が語る ― 仕事と人生のリアルー
～ ステージ 4 のがんを抱えながら、どう働き、どう生きるか ～

現在、日本では多くのがん患者が治療を受けながら社会生活を続けています。
では、もし自分がその立場になったとき、どのように働き、どう生きるのか――。

本研修では、実際にステージ 4 のがんを抱えながら現場で活躍する薬剤師が、自らの経験を赤裸々に語ります。

がん患者としての視点と、薬剤師としての視点、その両方を持つ立場だからこそ話せる「患者のリアル」「医療者としての葛藤」「がんとともに働く意義」など、今まで語られることの少なかったテーマを共有する貴重な機会です。

「もし自分が患者になったら？」

「がん患者の気持ちをもっと理解したい」

「がんとともに働く未来を考えたい」

そんな思いを持つ薬剤師の方へ、ぜひご参加いただきたい研修会です。

1. がんとともに働くという選択 - 告知から現在までのリアル
2. 「患者」と「薬剤師」、二つの視点から見た医療のあり方
3. がん患者が本当に求めている薬剤師の役割とは？
4. 「がんと共存する時代」に求められる医療者である薬剤師の姿

【講師メッセージ】

がんになって初めて見えた景色がありました。

患者としての気持ち、薬剤師としての葛藤、そして『生きる』ということ。

今、私だからこそ伝えられることを、皆さんにお話したいと思います。

開催日時：令和7年4月16日（水）19:30～21:00

開催場所：Web 開催

「患者の健康を支える専門家」としての価値を高める
ことができる研修会です。

皆さまのご参加をお待ちしております！

